

福島を中心とした東北復興状況訪問視察報告

放射能は除染しても、なくなったわけではない 1年前に避難解除された葛尾村の帰還率は10%

原発事故から7年が経とうとしている中、東北の復興状況を知り組合員に伝えようと、グリーンコープ各生協の理事長が2017年12月に福島を中心とした訪問視察を行いました。

視察では南相馬市から浪江町、富岡町、川内町、葛尾村周辺を回りました。市内の居住地にある多数のホットスポット、あちこちにあるフレコンバッグの山、生活道路1本で隔てられた避難区域、原発事故は全く収束していません。今年4月に解除されたばかりの富岡町周辺では、車内でも放射能測定器が鳴りっぱなしで、見えない放射能汚染をまざまざと実感しました。案内してくれた方の、「放射能は除染してもなくなったわけではない」という言葉が原発事故の問題を表しています。

津波は自然災害であり、原発事故とは全く違います。原発は人災であり、帰還困難区域は境界線1本で決められ、家・土地・田畑すべて補償の対象となります。補償には差があり、そのことが地域の分断を生み出し、交流が失われました。

1年前に避難解除された葛尾村の帰還率は10%。子どものことを考え、帰っても仕事がないとなると若い人は帰ってきません。津波は、時間はかかりますが復興できます。原発事故は、地域の歴史・文化・コミュニティを奪ってしまい元に戻ることはできません。

事故から7年が経とうとしている今、私たちができることは、この原発事故の実態を知り伝えること、原発はいらないと声を上げることだと強く思いました。12月の伊方原発訴訟の勝利は、私たち市民が声をあげることへの勇気をくれました。原発はいらない！「グリーンコープでんき」であなたも意思表示をしませんか。

【理事長 佐藤恵美子】



〔帰還困難区域に設置されたモニタリングポスト。家人を待つ住宅は避難当時のまま。〕



〔仮置き場に山積みされたフレコンバッグ。中は除染された土など。フレコンバッグの耐久年数は3年。〕



〔南相馬市のスーパーの駐車場で放射能測定。高い数値を示すホットスポットは市内のあちこちにある。〕



〔富岡町の国道6号線。車の窓を閉めて走っても車内では放射能測定器が鳴る。〕



（長崎）の理事がおすすめを紹介します

もちりポテ豚（スープ付）

ポテ豚8個
240g
スープ45g
324円（税込349.92円）



うす塩味さば

320g
370円
（税込399.60円）



もちりポテ豚（スープ付）



じゃがいもを使ったもちりとした生地の中に産直豚のひき肉がはいっている「ポテ豚」をチキンベースのスープで煮込んでいただきます。産直豚のうま味が口いっぱいに広がります。冷凍で届くので、ストックしておけばあと1品ほしいときに10分ほどでできるので忙しいときには大助かりです。熱々なので冬にぴったりです。お好みの野菜を入れても栄養満点でおいしいですよ！



森 久恵

おすすめ①材料がさばと塩のみ！シンプルな材料だけでしあげているものはめったにありません。だからこそ安心していただけます。おすすめ②うす塩味だから幅広く利用できます。まずは塩焼き。焼いたものをほぐしてチャーハンや混ぜご飯の具に。ポリウムおかずのさばフライにも。うす味が好きな人にもお手軽に魚を食べたい人にもぴったりです。

うす塩味さば



「7月はシャボン玉月間」ポスター募集！！

今年の「7月はシャボン玉月間」に向けて、活動を広くアピールするためのポスター原画を募集しています。

〈募集要項〉

- 募集内容** 「せっけんを使う暮らしの提案」や「水環境保全についての提案」をテーマにしたポスター
- 応募資格** 組合員 またはその家族
- 応募形式**
 - ・カラー（画材は自由）
 - ・A3サイズ
 - ・キャッチコピーを必ず入れること
『せっけんで おうちも くらしも 地球もきれい』
- 応募方法** 注文書提出の際、配送職員に渡してください。
住所、氏名、電話番号 をポスター裏面に記入してください。
- 応募締切** 2018年 2月10日（土）
- 賞金** 3万円（採用作品1点のみ）
- 審査** せっけん運動ネットワーク幹事会(3/24)にて選考
- 注意事項**
 - ・用紙は各自ご用意ください。
 - ・未発表のオリジナル作品に限ります。
 - ・締切後は原則受け付けません。
 - ・応募いただいた作品は採用不採用に関わらずせっけんネットワークホームページ上で紹介する場合があります。但し、氏名を許可なく掲載することはありません。



【昨年度採用作品】

グリーンコープ生協（長崎）
組合員数： 16,005 人
（2017年12月20日現在）
～緑の地球をみどりのままで～

グリーンコープ生協（長崎）リユース・リサイクル状況

牛乳びん 98.8 % カタログ 68.3 %



〔とらねこ文庫の読み聞かせ〕



〔遊歩の会 販売コーナー〕



〔ゆりの会 布おもちゃコーナー〕



〔缶バッジ作り〕



〔ふまねっと運動 体験〕



〔レスキューセットのカレーライス試食〕



〔てつなぐの活動紹介〕

出展団体のようす

NPO 法人 DV 防止ながさき	DV、デート DV のパネル展示と中学校・高校での授業内容をスライドで紹介。クリスマス模様の布とビーズで缶バッジを作るワークショップもありました。
社会福祉法人 遊歩の会	活動の様子や商品 PR のパネル展示。事業所で作った木工品・手芸品・お菓子等の販売がありました。木で作るアニマルマグネットのワークショップも。
とらねこ文庫	絵本・紙芝居・大型絵本の紹介と展示。子どもたちに読んであげたい絵本リストの配布。マットを敷いたスペースでは子どもたちが絵本を読んだり、手遊びをしたりしていました。
ボランティアグループ ゆりの会	布絵本やタペストリーを展示。おもちゃで遊ぶコーナーでは小さなお子さんが布でできた大きなカメやつり竿、ボールで遊んでいました。
長崎フードバンク システムズ	企業や家庭から寄贈された食品を支援が必要な人や施設に届けるフードバンクの PR やレスキューキット（カレーと白飯）の実演・試食がありました。電気も火も使わずにあったかいカレーライスが完成するのに驚き！
自然と暮らしの学校 てつなぐ	大人も子どもも自由にすごせるたまり場「かっちゃんて」の取り組みをパネルと映像で紹介。築 80 年の古民家を子どもたちと工事したときのアルバムや活動報告書もありました。
社会福祉法人 グリーンコープ	ふまねっと運動体験、DVD によるワーカーズの仕事紹介、介護実技、介護相談。

びん牛乳試飲

カフェコーナー

パン販売

抽選会

リサイクルバルーン市

手作りおもちゃコーナー



みんな集まれ！グリーンコープふくしの広場2017
11月15日 長崎新聞文化ホール

いのちをつなぐ
地域でつなぐ

グリーンコープは食へ物運動をはじめ、いのちを大切にする活動を行ってきました。今年のふくしの広場は、人と人がつながる地域づくりを支援していきたいという思いから、『いのちをつなぐ、地域でつなぐ』というテーマを設定しました。

当日は主催者、助成団体を含めて約150名の参加がありました。ベビーカーを押した若いお母さんからご年配の方までたくさん来場していただきました。

ワークショップを体験したり、出展団体の方の話を聞いたりして地域福祉を実感し、楽しい交流会となりました。

最後には、出展団体のブースをまわって集めるスタンブラリーによる抽選会も行いました。

【福祉委員長 田川志保】



子育て広場「ぽけっと」のイベント

12周年 11月9日

この日は受付の時刻前から参加者が次々と来られて、保育室はたくさんの親子で埋まりました。

佐藤恵美子さんにパネルシアターでお話をいただき、歌や手遊びを親子で楽しんでもらいました。子どもたちは、お母さんのひざで手遊びしたり、問かけに大きな声で答えたりと、とてもにぎやかなイベントとなりました。



帰りにはスタッフ手作りの『だるまさんデンデン太鼓』をプレゼントしました。

「初めてパネルシアターを見ました。巧妙でびっくりしました。」「心温まりました。」と感想をいただきました。

【専任スタッフ 小林祐子】

クリスマス会 12月21日

40組89人の親子の参加があり、そのうち初めての参加が19組でした。

フルート、ピアノ、ハンドベルの生演奏や歌、手品、手袋人形劇、と盛りだくさんの内容でした。「子ども連れでは生の演奏を聞く機会はなかなかなく、今回はたいへん癒されました。」

「親子で大満足でした。」という声が聞かれました。

グリーンコープの牛乳・りんごジュースの試飲、スタッフ手作りのサンタカップ入りお菓子のプレゼントもあり、喜んでいただきました。

【専任スタッフ 山本順子】



12月6日 生笑一座福祉公演会

たらみ図書館 海のホール

日本の若者の死因のトップは自殺！

「助けて」と言った日が「助かった日」

今回公演いただいた『生笑一座』の名前は“生きてさえいればいつか笑える日がある”に由来します。座長は北九州のNPO法人「抱樸」の理事長、奥田知志さん。長年ホームレス支援の活動をされています。インタビュー、メンバーのメッセージ、空き缶仕分け競争のワークショップ、歌、踊り、と盛りだくさんの内容で笑いあり、涙ありの90分間。心温まる公演でした。

最も心に残った言葉は「生きていてよかった！『助けて！』と言った日が助かった日。」この言葉を子どもたちに伝えたいと強く思いました。同時に、今ある日常がどんなに幸せでありがたいことなのかとふり返り、たくさんの人や物事、環境に感謝の念があらわれてきました。



【福祉委員 内田綾佳】